

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 ＜英訳＞	ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門 ILAS Seminar :Fieldwork on Forest Peoples and Livelihoods			担当者所属 職名・氏名	農学研究科 助教 内藤 大輔		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期集中	受講定員 （1回生定員）	7（7）人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	農学部総合館、西日本の中山間地域（北部構内）			使用言語	日本語及び英語
キーワード	山の民 / 山の暮らし、生業 / フィールドワーク / 農林業 / 中山間地						
【授業の概要・目的】							
近年、日本の基層文化を形成してきた「山の民」の暮らしは、過疎、高齢化などにより急速に変わりつつある。本セミナーでは、近畿（京都、奈良など）の山村でのフィールドワークから、山村に長く暮らして来られた方々との交流を通じて、山の暮らし、文化、行事、生業について学び、実践することによって、現在中山間地に暮らしている人々の生きていく技を体感し、抱えている課題について学ぶことを目的としている。							
【到達目標】							
・「山の民」の暮らしについて学ぶ。 ・中山間地の抱えている問題について理解する。 ・フィールドワークに必要な基礎知識を習得する。							
【授業計画と内容】							
集中講義：前期期間中に、以下のフィールドにおいて、フィールドワークを実施する。 まず初回の授業で、受講者の興味・関心に沿って、実習内容・スケジュールを確定する。 フィールドサイト：京北（岩倉、花背、周山、美山）、奈良（吉野） 4月初旬 イン트로ダクション 4月 京北 春の里山を味わう、棚田・畑の整備 5月 京北 茶つみ、田植え準備 6月6-7日 奈良・吉野 山の神（川上村）、山の神神事、夏祭りへの参加、吉野の山づくり 夏季休暇中：京北、美山での山づくり 4,5月は日帰りフィールドワークを2回土日に実施する。 6月は宿泊のフィールドワークを実施する。 フィールドへは8人乗りの車で移動する。							
【履修要件】							
特になし							

ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2)

【成績評価の方法・観点】

フィールドワークへの参加、フィールドノートの記録（70%）
レポート（30%）

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）
宮本常一『山に生きる人びと』（未来社, 1964）

【授業外学修（予習・復習）等】

訪問するフィールドについての予備学習
フィールドワーク後にフィールドノートの執筆

【その他（オフィスアワー等）】

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険への加入のこと
フィールド実習では、食費、宿泊費がかかります（事前にLMSにて通知します）

【主要授業科目（学部・学科名）】